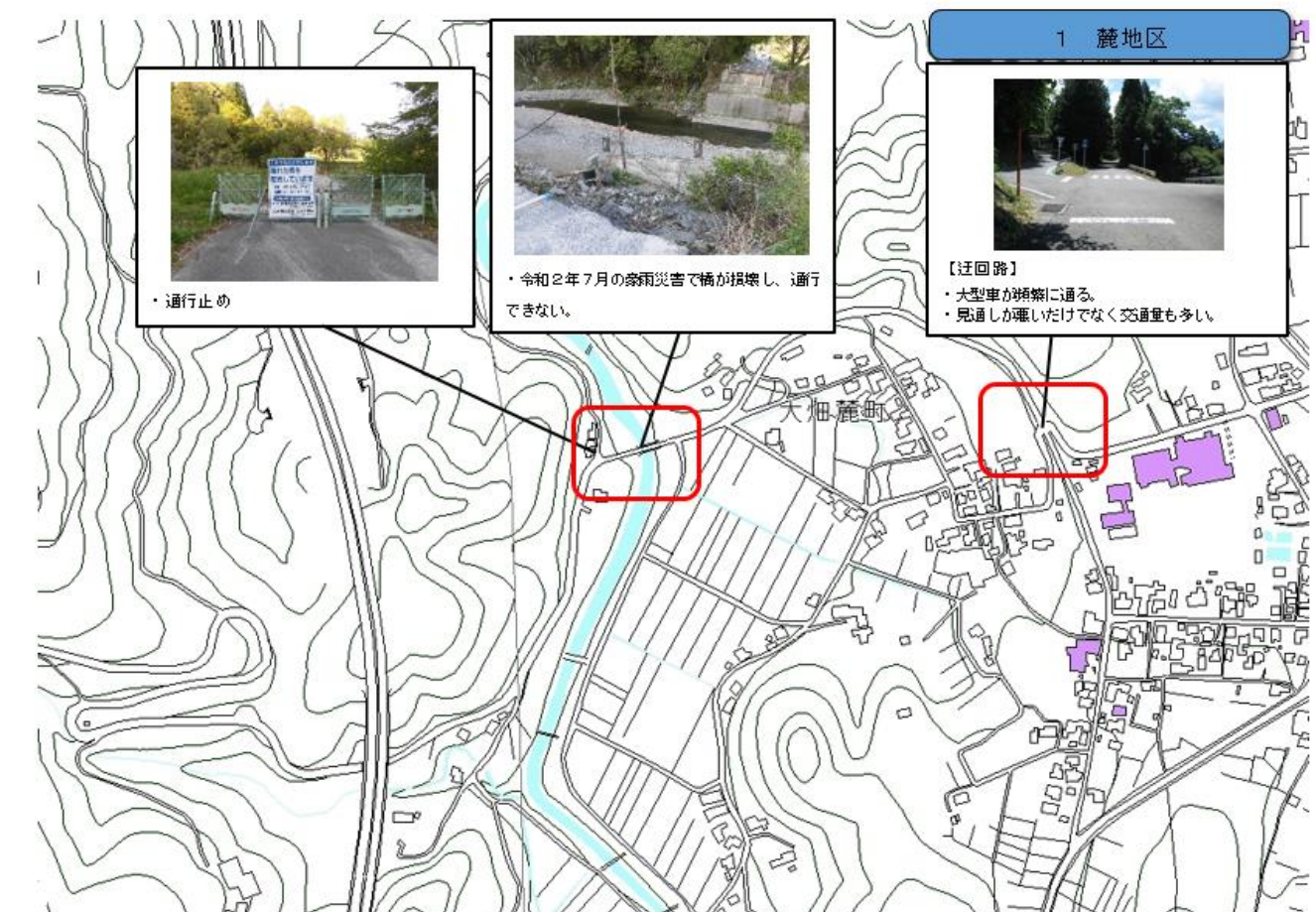


4 校区（通学路）安全マップ

番	危険箇所	通学路の状況・危険の内容
1	麓地区	令和2年7月豪雨災害で橋が損壊し、通学路が遮断されている。そのため、現在は迂回路を登校しているが、見通しが悪く車の交通量が多い四差路がある。
2	上・下・東漆田地区までの通学路	国道から県道に入ると道幅の狭く、見通しの悪いカーブも多い。大雨時は、土砂崩れの危険性もある。木々が道路へ覆い薄暗い。また、民家が少なく人通りもほとんどない。猿の群れが頻繁に出没している。（現在は被害報告なし。）
3	上田代の通学路（1）	大型車がスピードを出して通行することが多い交差点がある。横断歩道がないため、児童は左右を確認し走って渡っている。木が繁り白線が見えない。歩道が狭いうえに、車の交通量が多い。
4	上田代の通学路（2）	歩道側が崖崩れの恐れがあるため、児童は、歩道の無い反対側を通っている。対向車線がなく道が狭いが交通量が多い。見通しの悪いカーブで下り坂であるため、車のスピードが出やすい。運転手が児童に気付くのが遅れる可能性がある。
5	国道221号線の交差点	登下校時に道を渡る必要がある児童がいるが横断する為の信号機や歩道が遠く離れた場所にある。児童が横断歩道を渡る際にも県道265→国道221（えびの方面）へ左折する大型車が多い。（信号が黄色から赤に変わる瞬間等）



2 上・下・東漆田地区地区



- ・国道から県道に入ると道幅の狭く、見通しの悪いカーブも多い。
- ・大雨時は、土砂崩れの危険性もある。



- ・木々が道路へ覆い薄暗い。また、民家が少なく人通りもほとんどない。
- ・猿の群れが頻繁に出没している。

3 上田代地区（1）



- ・木が繁り白線が見えない。
- ・歩道が狭いうえに、車の交通量が多い。



- ・大型車がスピードを出して通行することが多い交差点がある。
- ・横断歩道がないため、児童は左右を確認し走って横断している。

4 上田代地区 (2)



・歩道側が崖崩れの恐れがあるため、児童は、歩道の無い反対側を歩いている。
・対向車線がなく道が狭いが、交通量は多い。



・見通しの悪いカーブで下り坂であるため、車のスピードが出やすい。運転手が児童に気付くのが遅れる可能性がある。



5 国道221号線交差点



・児童が横断歩道を渡る際にも県道265→国道221（えびの方面）へ左折する大型車が多い。（信号が黄色から赤に変わる瞬間等）



・登下校時に道を渡る必要がある児童がいるが横断する為の信号機や歩道が遠く離れた場所にある。

